

# 音楽の森コンサート

～音楽の父バッハは、優しいお父さん?!～

日時：平成23年**10月21日(金)**

18:30開場 19:00開演

会場：熊本市植木文化センター 植木町文化ホール  
(旧 生涯学習センター)

入場料：全席自由 1,000円

※小学生以下・70歳以上無料(要整理券/植木文化センターにて配布)

春日万里子 / チェンバロ

春日保人 / バリトン・バロックフルート

丹沢広樹 / バロック・ヴァイオリン

プログラム:

- G.B.ベルゴレージ作曲 喜劇《奥様女中》編  
一人音楽劇『女中に惚れさせられてしまったご主人様』
- J.S.バッハ作曲 / シャコンヌ
- J.S.バッハ作曲 / ブランデンブルグ協奏曲 第5番 より 第2楽章
- J.S.バッハ作曲 グノー編 / アヴェ・マリア
- 「アンナ・マグダレーナ・バッハの為の音楽帳」より
- C.ベツォールト作曲 / メヌエット 他

チケットのお求め:

熊本交通センター、熊日プレイガイド、ウェッキー、きくかわ、宮崎酒店、うちだ万十店、田中商店、熊本市植木文化センター

主催：植木町文化ホール自主文化事業協会、植木町合併特別区、(財)熊本県立劇場

お問合せ：植木まちづくり交流室 096-272-6906



平成23年度 優れた劇場・音楽堂からの  
創造発信事業



# 音楽の森コンサート

～音楽の父バッハは、優しいお父さん?!～

## 【メンバープロフィール】



春日保人 (バロク・バロックフルート)

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院古楽科修了。モンテヴェルディ《オルフェオ》(神奈川県立音楽堂)、モーツァルト《フィガロの結婚》、フィドラーの音楽舞踏喜劇《太ったカスの結婚》の各タイトルロール役を演じ好評を博す。特にヘンデルのオペラでは定評があり、ヘンデル没後250年記念公演《オットーネ》エミレーノ役では「プリラントな美声」「深く奥行きのある声」と新聞、音楽誌上で高く評価されるなどバロック・オペラの分野で活躍する他、信時潔の交声曲《海道東征》、安藤由布樹カンタータ《この灯は永遠に》青年達雄役、オペラ《ラビュリントス》ダイダロス役など邦人作品にも出演する。『目白バロック音楽祭』やNHK-BShiにも出演。2010年、上海東方芸術センターにおいてベートーヴェン《第九交響曲》のソリストとして上海交響楽団と共演する。ブラームスやフォーレ《レクイエム》、オルフ《カルミナ・ブラーナ》、鈴木純明、小櫻秀樹各氏を代表とする作曲家ユニット、スオヴォ・ヴィルトゥオーゾ主催の室内オペラ《RAMPO2011》で明智小五郎役にて出演するなど、中世から現代までとそのレパートリーは広く、各分野で高く評価されている。自らが主宰するアンサンブル「ソナール・カンタンド」において、バロック時代の知られざるスコットランド音楽にスポットをあてた『魅惑のケルティック・バロック』が音楽の友誌「コンサート・ベストテン2008」に選出され、2010年にはイタリアの「ブレーシャ国際古楽音楽祭」にも招聘された。日本ヘンデル協会、日本イタリア古楽協会、日本スコットランド協会各会員。



丹沢広樹 (バロック・ヴァイオリン)

第15回静岡県学生音楽コンクール弦楽器部門第1位、室内楽協会長賞受賞。2000年、東海大学教養学部芸術学科音楽学課程卒業後、会社勤めの傍らリーダー奏者・古橋潤一氏の下で初期イタリアンバロックのプロジェクトに参加、オリジナル楽器の表現やガット弦ならではの音色に魅せられ、本格的に活動開始。ヴァイオリンを小野岡祐子、故久保田良作、高田あずみの各氏に師事、講習会等でバロックヴァイオリンをルーシー・ファン・ダール、寺神戸亮、渡邊慶子、クラウドディア・コンプスの各氏に、演奏法を志水哲雄、古橋潤一に教えを受ける。イタリアにてエンリコ・ガッティのサマーコースのディプロマを取得。ソロや室内楽において時代を問わず演奏を続ける。古楽アンサンブルのメンバーとして各地の音楽祭やCD、FM等のレコーディングに参加する一方、モダン・オーケストラのコンサートマスターを3期経て現在に至る。近年では、ベルフォーレ長泉、函館市伝統的建造物でのコンサートシリーズも好評を博す。2010年にアンサンブル・ソナール・カンタンドのメンバーとして、ブレーシャ国際古楽音楽祭に出演。



春日万里子 (チェンバロ)

東京藝術大学音楽学部古楽科チェンバロ専攻卒業。同大学院古楽科修了。チェンバロを鈴木雅明、L.グリエルミ、通奏低音を勝谷祥子、故小島芳子、アンサンブルを鈴木雅明、ピアノを勝谷寿子、芸大バハ・カンタータ・クラブにて小林道夫の各氏に師事。またP.アンタイ、G.モリーニ各氏の公開レッスンを受講する。'04年よりイタリアに留学。トリノにてルカ・グリエルミ氏に師事する。イタリア滞在中、5月にサンティラーリオ・デンツァ(エミリア・ロマーニャ州)、6月にレッジョ・エミリアのポリフォニー・フェスティバルに招聘され、演奏会に出演する。'00年福岡古楽音楽祭、'03、'04年ハンバート国際古楽講習会(イタリア)に参加。ソリストとして、バハ《ブランデンブルク協奏曲第5番》、通奏低音奏者としてバハ《ロ短調ミサ曲》、ヘンデル《メサイア》など出演する。2010年アンサンブル・ソナール・カンタンドのメンバーとして、ブレーシャ国際古楽音楽祭に出演する。日本ヘンデル協会会員。